

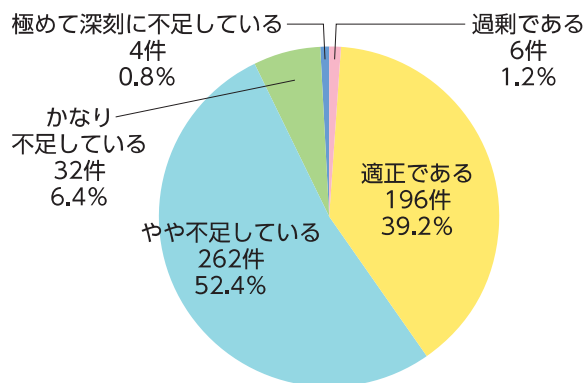
中小事業所における人材不足に関する調査結果

中小企業にとって人口減少に伴う労働力不足が大きな経営課題となっており、人手不足の状況や多様な人材の雇用状況、省力化・自動化への取り組み、課題等について調査しました。本号では主な調査結果をお届けします。

人手不足の状況について

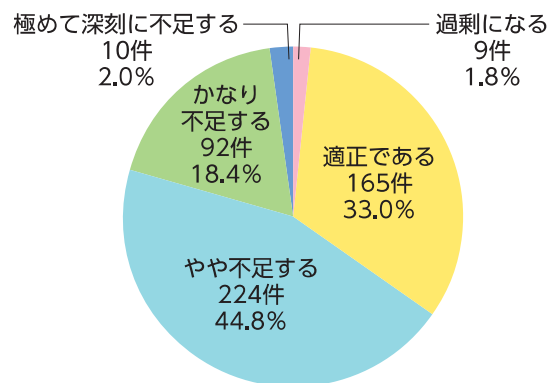
現在の労働力の過不足感

(n=500)



今後の労働力の過不足感

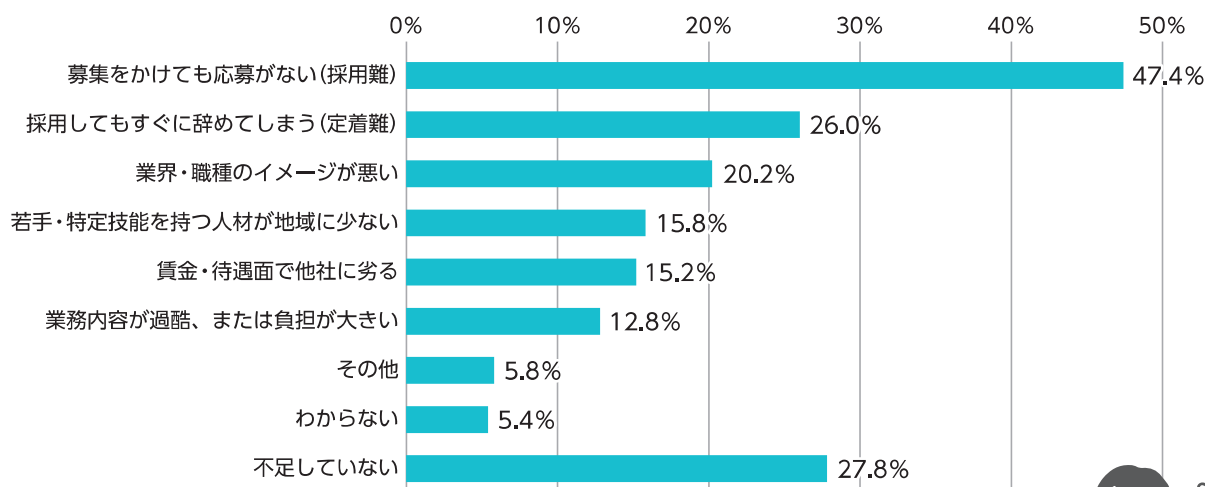
(n=500)



3年後には、「極めて深刻に不足する」「かなり不足する」の合計が20.4%と、現在の7.2%から大幅に上昇しており、人手不足の深刻化が一段と進むことが懸念される。

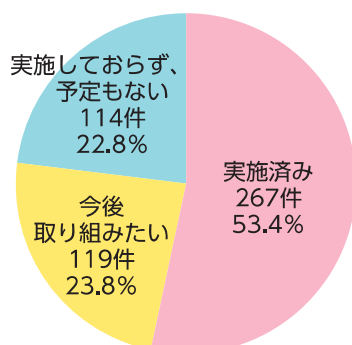
人手不足の要因

(n=500 複数回答)



賃金の引き上げ

(n=500)



人手不足の要因は、「募集をかけても応募がない(採用難)」(47.4%)の割合が最も高く、「採用してもすぐに辞めてしまう(定着難)」(26.0%)と続いている。賃金の引き上げは、半数以上が「実施済み」であるが、それでも採用が追い付かず、賃金の引き上げだけでは解消できない状況が見て取れる。

調査概要

- 調査対象
姫路商工会議所・姫路市商工会の会員事業所
- 調査期間
2026年2月4日～2026年2月20日
- 回答状況

発送数	回答数	回答率
3,993事業所	500事業所	12.5%

規模別構成比

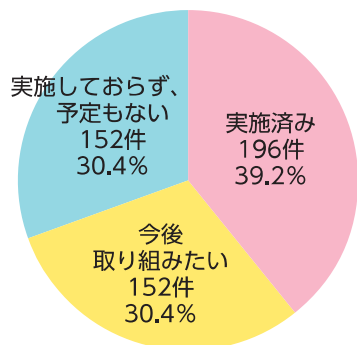
	件数	構成比
小規模	248	49.6%
中規模	209	41.8%
大規模	43	8.6%
合計	500	100.0%

業種別構成比

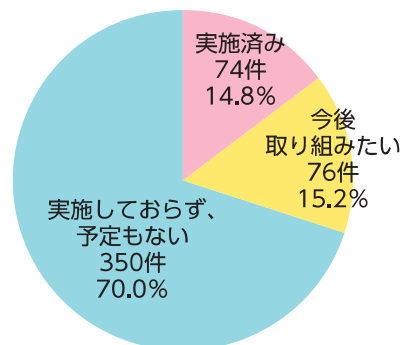
	件数	構成比
建設業	101	20.2%
製造業	101	20.2%
卸売業	40	8.0%
小売業	49	9.8%
サービス業	116	23.2%
その他	93	18.6%
合計	500	100.0%

実施・検討している対策について

女性人材の活躍推進 (n=500)

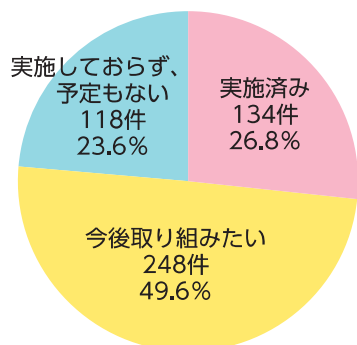


外国人材の活躍推進 (n=500)

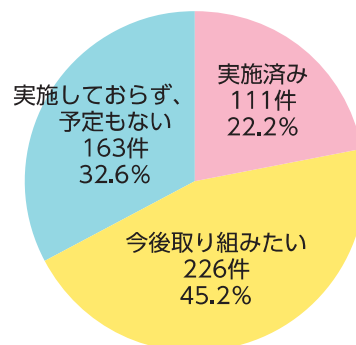


多様な人材の活躍推進については、女性人材の活躍推進が外国人材より相対的に進んでいる一方、その水準はなお半数に満たず、両者とも人材確保の観点から今後一層の推進が求められる。

業務プロセス見直しによる効率化の推進 (n=500)



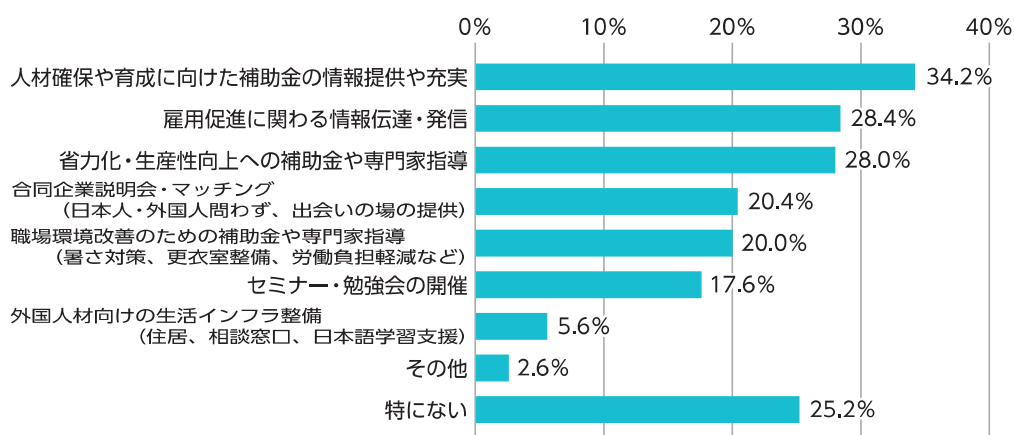
省力化・合理化投資(機械化・自動化・DX化)の推進 (n=500)



いずれも、「実施済み」の割合が低くなっている一方で、「今後取り組みたい」の割合が高くなっている。

商工会議所・行政への要望について

商工会議所や行政に求める支援 (n=500 複数回答)



「人材確保や育成に向けた補助金の情報提供や充実」(34.2%)の割合が最も高く、「雇用促進に関する情報伝達・発信」(28.4%)、「省力化・生産性向上への補助金や専門家指導」(28.0%)と続いている。